

令和3年度多面的機能發揮促進事業

中国四国農政局長表彰

受賞組織の概要

【多面的機能支払】

2) 優秀賞

・常松町を守る会	しまねけんいづもし (島根県出雲市)	・・・・1
・正金組織	おかやまけんきびちゅうおうちょう (岡山県吉備中央町)	・・・・2
・川西夢愛クラブ	ひろしまけんきたひろしまちょう (広島県北広島町)	・・・・3
・太田川地域保全協議会	とくしまけんあなんし (徳島県阿南市)	・・・・4
・あやうた地域広域協定	かがわけんまるがめし (香川県丸亀市)	・・・・5
・田野川甲環境保全会	こうちけんしまんとし (高知県四万十市)	・・・・6

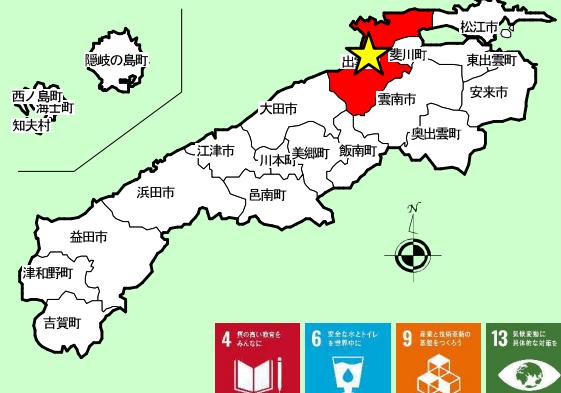
令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（島根県）

【多面的機能支払】

「常松町を守る会」（島根県出雲市）

（1）認定農用地面積：32.3ha
(田：28.0ha、畑：4.3ha)

（2）組織構成：
4集落（農家21戸、非農家50戸）
農業者、農業者団体、自治会、慶人会等で構成



【地区の概要】

本地区は、島根県出雲市の一級河川斐伊川と神戸川に育まれた出雲平野の北部に位置し、農地と宅地等が混在する都市的地域で主に稻作中心の農業が営まれています。

昭和30年代に土地改良事業を実施したが、特に水路等コンクリート施設の老朽化が著しく、これらの農業用施設を保全管理し持続的に農業を行うために、本地区の4集落で活動組織を設立し、平成19年度から活動しています。

担い手や農事組合法人等への農地集積を進める一方で、今後の後継者の確保や農地や農業用施設の管理方法について話し合いが進められています。

【主な取組み内容】

- 農道や水路の草刈りや泥上げは耕作者が中心となり4月から9月にかけて、草刈りは年4回、泥上げは年1回程度集落毎に効率的に実施している。その他、一斉草刈りを非農家も参加して年1回実施している。
資源向上活動では土木工事の経験者が中心となり線形、境界や出来映えに注意しながら水路等の補修や更新を全て直営施工により実施している。
- 斐伊川を水源とする農業用水路から取水することが出来ないため、地区内の排水河川から取水している。用水を有効に利用するため、排水路2箇所に揚水機場を設け農業用水を反復して循環的に利用している。また、活動開始時からの呼びかけにより、代掻き時の濁水の排水に対する配慮が浸透しており、浅水による代掻きが行われており、農用用水の節水にも繋がっている。
- 大雨時に農地が冠水する地形であり、令和2年度から活動組織内に防災担当を設け、組織が長年取り組んできた連絡体制や見回り体制を強化した。大雨の前には事前に連絡し合い、水門管理者への地区内河川の水門操作依頼や河川排水、大雨後の見回りなどの活動も行っている。令和3年7月の短時間豪雨時にもしっかりと連携ができたため、農地などに大きな被害はなかった。今後も地域全体で防災意識の向上を図っていく。



水質保全活動(浅水代掻き)



藻上げの様子



直営施工による水路改修

令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（岡山県）

【多面的機能支払】

まさかねそしき
「正金組織」 おかやまけんきびちゅうおうちょう
(岡山県吉備中央町)

(1) 認定農用地面積：31.8ha
(田：24.2ha、畠：7.6ha)

(2) 組織構成：
3集落(農家24戸、非農家29戸)
農業者、地域住民で構成



【地区の概要】

本地区は、吉備高原地帯にある吉備中央町の西部に位置し、美しい棚田風景を有する中間農業地域で水稻を中心に夏の冷涼な気候を利用した白菜など高原野菜の栽培が行われています。

農業従事者の高齢化や後継者不足に不安を感じるなか、地区の用水源であるため池や農業用水施設等を保全管理し、地域農業や農村環境を持続的に守ることを目的に、平成19年度に本活動組織を設立しました。

平成29年度には、60歳以下の若者（移住者、非農家を含む）を集めて「若者の会」を設立し構成員に加え、令和2年度からは活動組織に2名の女性役員を登用するなど、多様な人材の参画により結束を強めており、将来的には活動の後継者となることが期待されます。

【主な取組み内容】

- 農道や水路の草刈りを年3回以上実施。事前連絡でLINEを活用したりお互いに声掛けをしたりして参加しやすく、地域の交流の場となるような環境作りを心がけている。作業分担は男女関係なく、協力し合いながら行っており、農業者以外の構成員は4割以上で、これらの共同活動へは構成員の8割以上が参加している。
 - 地区中心部の人の目に付く場所に3箇所の花壇を設け1,200本のポーチュラカやパンジー・ビオラを植栽しており、花壇には女性が農作業で活躍しているイメージで描かれた爽やかな看板が設置され本活動をPRしている。
 - 鳥獣被害防止対策として鳥獣害防止柵の設置だけなく、山際から5m程度の草刈りや藪、侵入竹の伐採を行い農地周りの環境改善活動を実施している。
 - 本交付金の活動により、農業者だけでなく非農業者にも活動の重要性が理解され、地域一体で取組むようになった。構成員となった若者の会が、農業、農業用施設の維持管理及び活動組織の後継者として引き継ぎ、持続的な農業を行うことが可能となりつつある。本地区と隣接する活動組織との情報交換や交流活動も行われており、将来的にこれらの活動組織との合併・広域化も考えている。



地域ぐるみの植栽活動



女性の活躍をイメージした看板



侵入竹等の伐採

令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（広島県）

【多面的機能支払】

かわにしゆめあい
「川西夢愛クラブ」 (広島県北広島町)

ひろしまけんきたひろしまちょう

(1) 認定農用地面積 : 49.3ha
(田 : 49.3ha)

(2) 組織構成 :
6集落 (農家67戸、非農家3戸)
農業者、非農業者、自治会で構成



【地区の概要】

本地区は北広島町の東部、一級河川江の川沿いの標高400～500mの急峻な山々に挟まれた谷底平野に位置する中間農業地域で、水稻を中心に麦、大豆、飼料米などを栽培しています。

地域では平成13年度までに小規模な圃場整備が行われ、4つの行政区でそれぞれ施設の保全管理を実施しましたが、これらが連携し平成26年度に活動組織を設立しました。

本地区は環境美化に対する意識が高く、草刈りや水路清掃を地域全体で実施しています。また、集落内外に住む子ども達と生き物調査を行い、農村環境の大切さを伝える活動も行っています。

【主な取組み内容】

- 草刈りは行政区単位で年3回以上、泥上げは年1回以上行うほか、遊休農地の発生防止のための草刈り等を年2回実施し、遊休農地を解消している。
また、営農組合を基礎とした地域ぐるみの保全管理体制づくりを進めしており、年1回地域住民との意見交換会・交流会を実施。将来の後継者として地域の若手（青年部）にも声掛けして活動に協力してもらい保全管理している。
- 地域内外の子ども達と生き物調査を実施しており、構員に生物に詳しい元教職員が講師となり、地域に生息する川魚、オオサンショウウオ、虫、カニ等を捕獲し、その個体種の確認を行うことで、農村環境の大切さを伝えている。
- イノシシ、シカ等による農作物被害及び荒廃農地化を防ぐため、非農家も参加して見回り活動や防護柵の補修等を実施するとともに、農地周りの環境改善活動として農地と接する山林部の草刈りや木・竹藪の伐採等して緩衝帯を形成する取組をしている。



水路の泥上げ作業



生き物調査



農地周りの環境改善

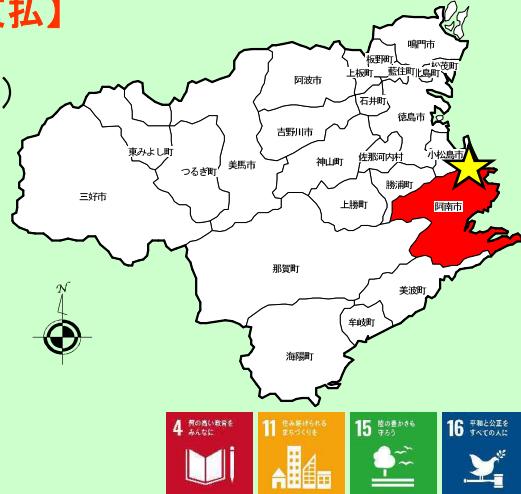
令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（徳島県）

【多面的機能支払】

「太田川地域保全協議会」（徳島県阿南市）

(1) 認定農用地面積：112.1ha
(田：111.0ha、畑：1.1ha)

(2) 組織構成：
8集落（農家283戸、非農家3戸）
農業者、自治会、女性会、
土地改良区等で構成



【地区の概要】

本地区は、徳島県阿南市北部と小松島市南部の那賀川水系により形成された三角州に広がる平野部に位置し、水稻を中心にホウレンソウ、キャベツ等の栽培などが行われており、水稻はJAによる指導の下、有機米や特別栽培米の栽培が推進されています。

老朽化する農業用施設の持続的な保全管理と農業者の高齢化や混住化の進行等の地域の課題に対応することを目的に平成19年度から活動しています。

地域における生物多様性保全を推進しており、地域の生息状況の把握と近年減少しているナベツルなどの野鳥が飛来しやすい環境づくりに取り組んでいます。

【主な取組み内容】

- 農道や水路の草刈りや泥上げは耕作者が中心となり6月から2月にかけて、草刈りは年2回、泥上げは年1回程度8集落毎に効率的に実施している。活動については、非農家も水路の泥上げ等の活動に参加している。
- 平成19年度以前より水路沿いの法面や水利施設周辺にアジサイ400本、桜99本を植栽しており、草刈りなどの管理作業には非農家も参加している。数筆でコスモスの栽培も行っている。
また、平成26年度より水田内のジャンボタニシの駆除や田植え後の浅水管理を行い防除対策を行っている。
- ナベツルやコウノトリが渡来しやすい環境作りを行うため、平成26年度より野鳥の餌となる生き物の生息状況調査や「落穂」や「二番穂」を残す取組を行っている。例年約70種類の生物が確認されており、令和2年度は75種類を確認した。生物調査の結果は取りまとめ後、本組織構成員を対象に年一回勉強会を行っており、野鳥への理解促進や継続的に活動実施するための意欲向上に繋がっている。



農道の草刈り



生物の生息状況の把握



ナベツルの飛来状況

令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（香川県）

【多面的機能支払】

「あやうた地域広域協定」（香川県丸亀市）

（1）認定農用地面積：661.2ha
(田：603.8ha、畑：57.4ha)

（2）組織構成：

37集落（農家1,772戸、非農家91戸）
農業者、農業者団体、自治会、女性会、子供会、土地改良区、学校・PTA等で構成



【地区の概要】

本地区は、香川県丸亀市南部の一級河川土器川右岸に位置し、農地と宅地等が混在する平地農業地域で水稻を中心に麦、アスパラガス、花卉（輪ギク）等の栽培が行われています。

用水は、香川用水掛かりのため池や雨水貯留のため池で貯っており、これらの農業用施設を保全管理し持続的に農業を行うために、土地改良区を中心とした積極的な推進により平成19年度に11組織が設立され、平成26年度には12組織が合併し広域活動組織として活動しています。

土地改良区が事務局となり各協定集落の事務負担の軽減だけでなく、集落や水利組合との調整・連携により水利慣行のトラブルが減少し、営農の継続に困っている集落等に対しては本地区への編入を推進するなど地域農業を支えています。

【主な取組み内容】

- 農道や水路の草刈りや泥上げは耕作者が中心となり5月から11月にかけて、草刈りは年3回、泥上げは年1回程度水利単位に実施している。その他、清掃活動を非農家も参加して年1回実施している。
イノシシの被害防止対策として獣友会のメンバーで設置点検部隊を組織し、このメンバーを中心に各集落への指導や保守管理補助を行っている。
- 景観形成活動は3集落単位で遊休農地を活用し、レンゲやコスモスを12箇所2ha程植栽。看板を設置し、開花時期には保育園や学校に声かけを行い、校外学習で見学に来てもらうことで、本活動のPRを行っている。
- 水質保全活動として毎年10月下旬から1月までの2～3ヶ月の間、30箇所以上のため池の池干しを行い水質保全に努めている。また、池干し後に非農家、小学生等が参加して清掃活動や倒木の撤去作業を実施している。



鳥獣防護柵設置



景観形成活動



水質保全活動(池干し・清掃)

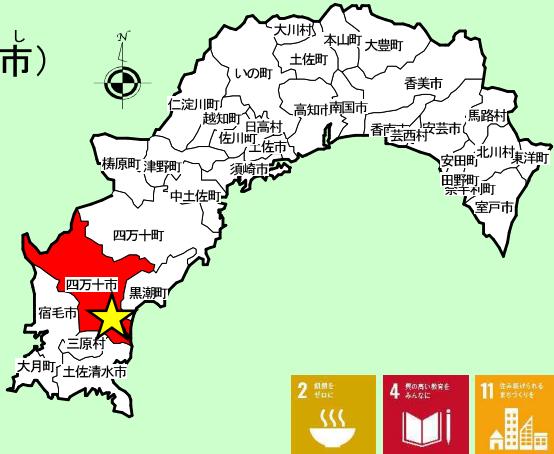
令和3年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 推薦組織（高知県）

【多面的機能支払】

たの かわこうかんきょうほぜんかい
「田野川甲環境保全会」（高知県四万十市）

（1）認定農用地面積：24.8ha
(田：24.7ha、畑：0.1ha)

（2）組織構成：
1集落（農家27戸、非農家2戸）
農業者、非農業者、自治会で構成



【地区の概要】

本地区は四万十市の中部に流れる四万十川水系後川の支流である田野川川流域に位置する山間農業地域で、水稻を中心に路地物の加工用キャベツ栽培などが行われているほか、主食用米の一部は四万十川の環境に配慮した農法で市がブランド化を推進している「しまんと農法米」の栽培を行っています。

昭和60年代に圃場整備を実施し、昔から「田役組織」と呼ばれている自治会組織を中心となり水利施設の管理等を行ってきましたが、高齢化・後継者不足等による施設管理の困難化や老朽化した水路等の機能維持等に対応するため、平成19年度に本地区を設立しました。

本地区の活動を契機に、農業で地域を活性化しようという意識が高まり、平成27年度に農事組合法人「田野川甲営農組合」を設立し、地域の担い手として当地域の8割程度の集積を進めるなど、本地区の活動が農業用施設の保全管理と担い手への農地集積推進の一助となっています。

【主な取組み内容】

- 草刈りは全体で年2回、泥上げは年3回行うほか、遊休農地の発生防止のための草刈り等を年4回実施し、年間2ha程度の遊休農地を解消している。また、営農組合を基礎とした地域ぐるみの保全管理体制づくりを進めしており、年3回地域住民との意見交換会・交流会を実施。将来の後継者として地域の若手にも声掛けして活動に協力してもらい保全管理している。
- 活動当初より景観形成を図るべく、女性構成員が中心となり、地域でパンジー、コスモス等の植栽に取組んでいる。
- イノシシ、シカ等による農作物被害及び荒廃農地化を防ぐため、非農家も参加して見回り活動や防護柵の補修等を実施するとともに、農地周りの環境改善活動として防護柵から山林部まで5～6m程度の幅を法面も含めて草刈りや木・竹藪の伐採等して緩衝帯を形成する取組をしている。



水路の泥上げ作業



植栽活動



鳥獣害防護柵周辺の草刈り作業